



高知市公式チャンネル



令和4年度

第2回 介護サービス事業所向け研修

『介護サービスの目的や目標について ～介護保険法の規定より～』



後編



高知市介護保険課 事業係



この動画は、前回の

「②-1 要介護状態等の軽減又は悪化の防止の考え方について」

の続編です。

その有する能力に応じた
自立した日常生活

自分が年を取った時、
どんな生活をしていきたいと
思いますか？



Bさん：自然との触れ合い



Aさん：車



今後どんな生活をしていきたい？



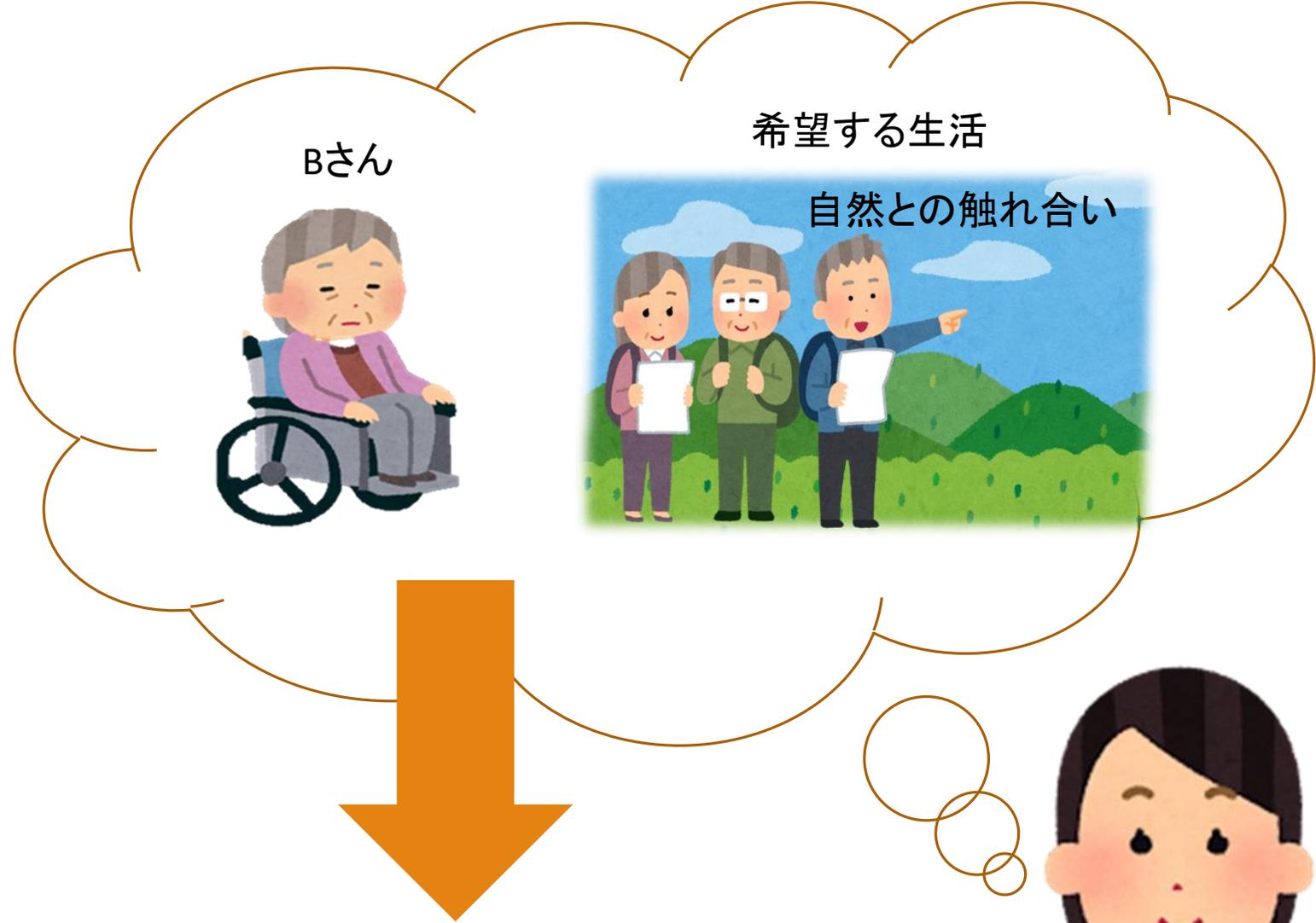
その人が希望する生活に、その人自身が主体的に参加できるように支援する、ということですね！

支援者がBさんを連れて行ってあげれば希望する生活の実現では？



! ?

自然と触れ合える生活の実現のため、どのような支援が必要か？



Bさん

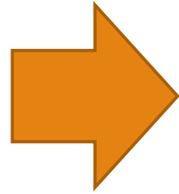
希望する生活

自然との触れ合い

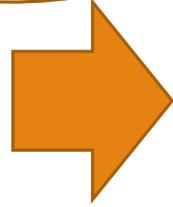




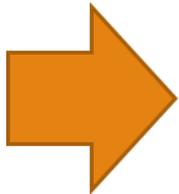
Bさん



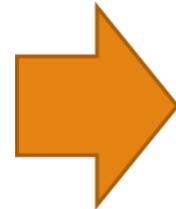
支援者あり



実現！！



支援者なし



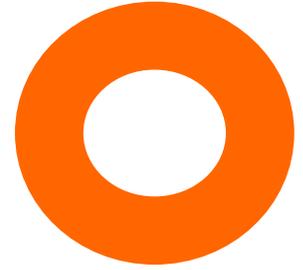
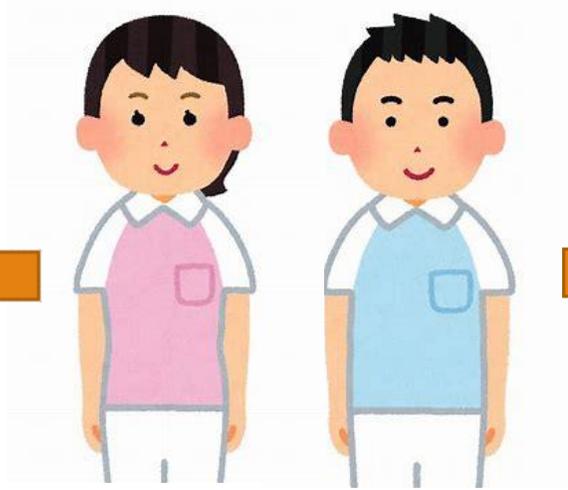
実現できない・・・

なるほど！





できない事をしてあげ
る



本人自身が主体的に参
加できるよう支援

支援者としての
考え方

大切!



Point1

【支援者として大切な視点】

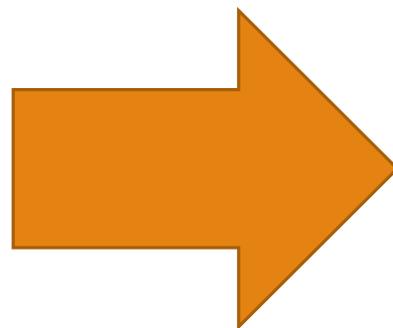
利用者一人ひとり，それぞれに「実現したい生活の姿」があること

「できないことをやってあげる」ではなく，
『本人が実現したい生活の姿について，本人自身が主体的に参加できるようにするための支援をする』こと

『その有する能力に応じた自立した日常生活の実現』



自分の力で
実現したい！



自分の力だけで自然
と触れ合う姿の実現
は難しいのでは？

介護が必要となったとしても、Bさんに残って
いる能力を使って自然と触れ合える姿がな
いかと考えると、



例えば...



「庭先で自然と触れあえる」

**Bさん自身の能力に
応じた実現の姿**



筋力
空間認知
操作能力
自然を感じる力



『有する能力に応じた自立した生活』の実現！

- 
- 
- 
- ①その利用者が実現したい生活の姿が何なのか確認・把握
 - ②利用者自身が実現できる姿を具体的に想定
 - ③利用者の能力を維持もしくは向上させるための支援を考えること

Point2

【その有する能力に応じた自立した日常生活の実現】

その利用者が自分の能力を使ってどんな日常生活を実現したいのかを確認

それを実現させるため、今ある能力をどう維持・向上させるかを考える

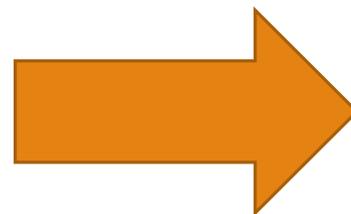
自然と触れ合える姿を実現するために・・・

Bさんの能力を確認！



下肢筋力の低下

車いす



視力・聴力・嗅覚・
上腕の筋力・空間認知
車いすの操作能力



はい、そうです！

維持・向上のためには？



庭先に出るために必要な心身機能などの分析

行為（例）	能力（例）
車いすに移乗するための	上肢・下肢の筋力
車いす自走するための	上肢の筋力・握力・操作能力・心肺機能
庭先で自然を楽しむための	視力・聴力・嗅覚
病状や体調の安定のための	食事量・栄養面・服薬・水分・ 規則正しい生活

環境整備

同居家族などの理解と支援

これらの能力や状態を分析

維持・向上させるアプローチ

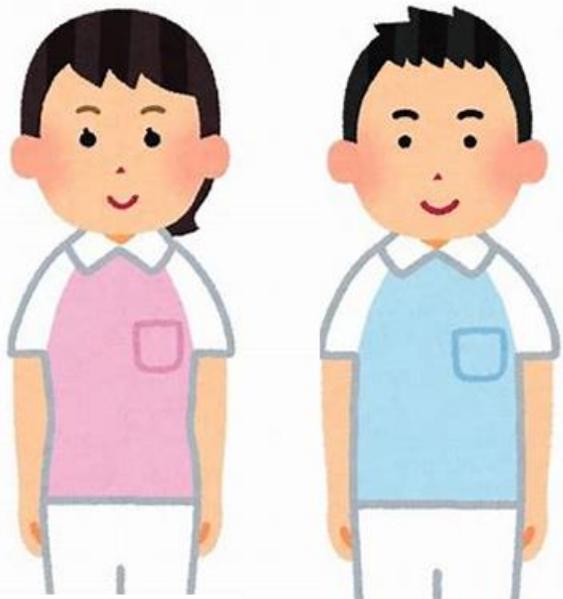


あなたが

『自分の力で庭先に出て自然を楽しむことができる姿を維持・向上するため』

に支援するので、一緒に頑張りましょう！

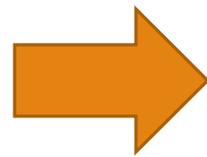
はい！！



ケアプランの検討

前編

認定調査における評価
歩行が
「つかまればできる」



下肢筋力の維持・向上
のために
「デイでの機能訓練が有効」

上肢の筋力の維持・向上
のためには、どのような
サービスが有効？

あれ！？



有効なサービスとして
上肢の筋カトレーニング

サービス内容は
デイサービスでの機能訓練



『今の状態になっている原因を分析し、 そこにアプローチする』という考え方

前編

『要介護状態等の維持・軽減』

後編

『その有する能力に応じた自立した日常生活』

これが、今回の研修の主題である『介護サービスの目的や目標』、つまり私たち支援者は何のためにサービスをするのか、ということの答えです！



まとめ

	項目	手順	参考例
1	ニーズの確認	利用者本人の、希望する(実現したい)生活の姿の確認	自然と触れ合える生活がしたい
2	原因分析	希望する生活の実現について本人の心身機能能や能力等の原因分析	自然を楽しむための視力・聴力・嗅覚・認知能力などは問題なし 車いすレベルだが移乗や自走はできる 体調は安定している
3	目標設定	「希望する生活の姿」を具体的に明確にする	自然と触れ合える生活 ↓ 自力で遠出はできないが、車いす自走し庭先には出られる ↓ 「庭先に出て自然と触れ合える生活」
4	目標の共有	「何のためにどのようなサービスをするのか」について、利用者・家族等・ケアマネ・サービス事業者で共有	「自分の力で庭先に出て自然と触れ合える生活と、要介護状態等の維持軽減のために」サービスを受けてもらう・提供するという事を担当者会議等で全員で確認・共有する
5	原因へのアプローチ	希望する生活の実現・継続のために必要な心身機能・環境等へのアプローチ(支援)	自分の力で庭先に出て自然と触れ合える生活と、要介護状態等の維持軽減のために 車いすへ移乗するときの上肢・下肢筋力、握力、関節可動域、庭先までの距離を車いす自走できる上肢等の筋力、体調の安定

利用者Bさん「庭先に出て自然と触れ合いたい」

居宅サービス計画書(第2表)・個別援助計画への記載(例)

生活全般の解決すべき課題(ニーズ)	長期目標	期間	短期目標	期間	サービス内容	サービス種別	頻度	期間
車いすを自走して庭先まで出られる	車いすを自走して、いつでも庭先に入出入りできる	12か月	庭先に出る時の片道だけは、車いすを自走してできる	3か月	居宅での庭先までの導線や距離等を想定し、片道だけは自走できるよう、上肢の筋力及び握力を維持・向上するための機能訓練	地域密着型通所介護	週3回	12か月
					本人の身体状態や庭先までの導線に合わせた車いすの貸与	福祉用具貸与	毎日	12か月
					庭先への出入り口の段差解消	住宅改修		
毎日庭先に出て自然と触れ合えるよう、体調を整えたい	栄養バランスの取れた食事を毎日3食摂ることができる	12か月	朝食と昼食だけは、栄養バランスのとれた食事を摂れる	3か月	配膳・下膳 朝食と昼食の調理	本人娘	毎日	12か月
	起床・食事・入浴・就寝などについて規則正しい生活ができる	12か月	夜間8時間眠れる(7時起床・23時就寝)	3か月	就寝や起床時の声掛け・睡眠状態の確認 睡眠導入剤の利用	娘 〇〇病院	毎日 睡眠状態に応じて調整	12か月

ご視聴ありがとうございました！

ありがとうございました！

アンケートにご協力ください♪

【アンケートの回答方法】

- ① 右のQRコードを読み取り，webで回答
（簡単です！）
- ② 高知市HPからアンケート用紙をダウンロードし，FAXまたはメールで回答



